

第 2 回定例教育委員会 会議録

開催月日 令和5年4月19日（水）

開催時間 午後 3 時 30 分から午後 4 時 25 分まで

開催場所 教育委員会室

出席委員 教育長 降旗 友宏
教育長職務代理者 岡部 和子
教育長職務代理者 松坂 浩志
委員 小澤 幸子、橋本 幸子

出席職員 教育次長 河野 公紀
教育監 市川 敏也
教育監 初鹿野 仁
次長（総務課長） 小林 洋一
教育企画室長 岩出 修司
福利給与課長 永井 研一
学校施設課長 白須 慎一
義務教育課長 小池 孝二
高校教育課長 萱沼 恵光
特別支援教育・児童生徒支援課長 鷹野 美香
生涯学習課長 平賀 貴久子
保健体育課長 山田 芳樹
企画調整主幹 中村 隆宏
総務課総括課長補佐 齊藤 七二

教育企画室
働き方改革推進監 伊藤 宏紀
課長補佐 三枝 徹

総務課
課長補佐 河野 敏三
主査 小池 涼子
主事 中野 友嗣

傍聴人 0 名

報道 0 名

会議要旨

〔 教育長開会宣言 〕

長澤委員から都合により会議を欠席する旨の届出があった。
報告事項2は個人情報に関する案件である旨が教育長から発言され、出席委員全員が了承のうえ非公開とした。

1 議 案 な し

2 報 告 事 項

(2) 山梨県教育振興基本計画検討有識者会議の設置について

〔説明〕 教育企画室

(非公開：会議の要旨)

山梨県教育振興基本計画検討有識者会議の設置について、有識者会議の設置根拠や構成人数等に関する説明、名簿の提示があり、全委員の賛同により了知された。

【 了 知 】

3 その他報告

(1) 令和6年度採用山梨県公立学校教員選考検査実施要項について

[説明] 義務教育課

- 岡 部 委 員 以前、大学3年生でも受験可能になるという話を聞いた気がするのですが。
- 小 池 課 長 令和6年度採用については取り入れていません。これから検討していくことになろうかと思えます。
- 教 育 長 早いうちから採用試験を受けられる環境を整えることによって、先生になるインセンティブとか実習などに集中しやすくなるというメリットも考えられるところですし、本県でも導入することについて検討していくという議論をしているところです。
- 岡 部 委 員 わかりました。
- 岡 部 委 員 採用予定者数が未定となっておりますが、実際募集する時には要項に載りますか。
- 小 池 課 長 はい。
- 松 坂 委 員 日程はこれで問題ないと思えます。
ただ、今、教員を志望する人がだんだん少なくなってることへの対応策を考えていくべきで、例えば大学3年生で受験できるとか、東京会場で実施するとか。これらは一つの策だと思うのですが、そのあたりの具体的なものは何かありますでしょうか。今後検討するつもりとなると遅れてしまう可能性があるのですが、正式に実施するかどうかはまだ分からないとしても、今ご紹介できることは何かありますか。
- 小 池 課 長 教員の志願者数を増やす取り組みということでペーパーティーチャー研修会を実施しています。教員免許を持ってるけれども現在は他の職業についている方の掘り起こしをしています。また、高校生のうちから教師への魅力をもってもらえるよう、高校に出向いて教師の魅力を伝えたり、TikTokを利用した魅力発信にも努めております。
- 教 育 長 ペーパーティーチャーの掘り起こしについてはまだ可能性があると思われる部分ですし、去年ペーパーティーチャーの研修会を今年の2月に実施したのですが、約20～30人ぐらいの参加者があり、この時期にこんなに集まったことに驚いたと同時に可能性を感じました。ですので、今年は年間を通して複数回または定期的に行うことによって受験生の掘り起こしをしていきたいと思っております。
- 松 坂 委 員 そのあたりの情報は皆さんご存知なんですかね。
- 教 育 長 2月に実施した際、山日新聞や県の広報紙に掲載したところ結構人が集まりました。
最近ネットニュースでもペーパーティーチャーという言葉自体は露出し始めている感がありますので、山梨県内でもさらに広めていこうと思っております。
- 松 坂 委 員 例えばそのペーパーティーチャーの講習会で山梨県の教員採用選考についてアナウンスするのは良いことだと思います。
あともう一つ、県内の教育実習者の人数って把握できているのですか。
- 教 育 長 教育実習生の数は把握できていると思えます。

- 松坂委員 他県から本県に教育実習に来てもらえる人数を把握し、それを増やすことが今後のベースを作ることにつながるのではないかなど。
- 教育長 教育実習生は自分の出身の県に帰る場合が多いと聞きます。今は他県の人を山梨の現場で教育実習を実施させるのはちょっと難しいのかもしれない。ただ今後はそういった居住メリット、同じ先生をやるのだったら、自然豊かで人間関係がおおらかな山梨でという土地ごとの比較をしてもらうという時代になっていくと思っています。今後は受検者の皆様方にこの山梨の良さをあわせて伝えながら、山梨で先生になることをPRしていくことが重要だと思います。その辺りが今都内などに出ている学生がUターンで山梨で先生になるという選択肢に繋がると思います。
- 松坂委員 ペーパーティーチャー講習会や教育実習での活動を全体的に組み合わせて受験生を増やしていくような活動をやるといいかなと思います。
- 教育長 ありがとうございます。
先ほど小池課長が話していた、高校生に説明をするという取り組みは個人的にすごく可能性があると思っています、例えば千葉県あたりでは先生が自分の出身校に出向いて高校のOBかつ先生ということでお話をされている取り組みを行っているそうです。自分の学校の卒業生が教職の魅力を伝えるということにより、生徒も親近感がわいたり、自分の学校からこうやって先生になるんだという具体的なイメージに繋がりがやすいという話も耳にしたことがあり、興味深いと思っています。
- 松坂委員 前から思っていたことがあるのですが、教員が不足して、各学校で校長先生とか教頭先生が臨時的な教員を探したりしている。それは結構負担で、自分のテリトリーの中しか分からないわけだから、教員専門の派遣会社みたいなところがあって、そこに登録してもらってマッチングするというような形があっただけじゃないかなと思います。
民間の方が工業高校の専門的な部分を教える際、民間の会社に募集がかかってもなかなかいない。それならばOBで60歳過ぎたけどそういう経験がある人を登録して、そのリストを先生たちが見える形にした方が校長先生たちの負担が減るのではないかなと思いました。
- 教育長 そういう人材のマッチングリストみたいなものは作っていて、リストは存在してるんですが、今の課題はその更新が不十分な部分がありまして、電話をして繋がっても今は違いますというような、今のニーズに合っていないこともあるようです。
このデータベースの更新をうまくできれば、今、松坂委員がおっしゃってくださったような民間の派遣マッチングのような仕組みがうまく使えるようになるのではないかなと思います。
- 岡部委員 私から2点よろしいですか。1つは新採用の離職者が多いこと。昔、1つのクラスしかないところに新採用が配置され、その先生は学年総会から会計から全部一人でやらなければならないということがあった。学級数によるかもしれませんが、最初から新採用でクラス担任を持つのではなく、副担任から始まるとか、担任は2年後にするとか。精神的な理由で2年ぐらいで辞めてしまう人もいます。離職者が多いということについてが1点。
2点目は、先ほどから言ってるようなペーパーティーチャーという言葉を使うならば、カムバックティーチャーとかもっと分かりやすくした方がいいのではないかな。また昨年ですか、山梨で先生になろうというフォーラムで若い人がいろんな話をしてくれて、すごく若い人には受けているので、若い人同士のフォーラムをどんどん行っていくのがいいのかなと思っています。

- 教 育 長 ありがとうございます。
今、新採用の先生をいきなり担任に配置することについて学校の校長が配慮されていると思うのですが、そのあたりの実態ってどうなんでしょうか。
- 市川教育監 実際に新採用が担任を持たざるを得ないという状況はあります。隣の学級の先生だったり教務主任だったり、そういった先生方がサポートしながら、最初の学年集会などを行っています。
- 教 育 長 学校の規模、学級数にもよるかと思います。山梨では新任の先生1人に対して先輩の先生が4、5人いて、年間を通してアドバイスをしたりとサポートをしているので、そのような制度とうまく組み合わせていければなと思います。
- 橋 本 委 員 複数学級があるところは新採用が配置されることがあるそうです。
- 教 育 長 せっかく苦勞して先生になっていただいていると思いますので、うまく順応できるよう我々も気を配れるようにすることが大切だと思います。
- 小 澤 委 員 今回でなくて構わないので、教員採用試験の受験者のうち、県内で学ばれた方と県外で学ばれた方の割合を教えてくださいなと思います。といいますのは、昔の話ですが、他県で学ばれて山梨に帰ってくるより県内で学んだ人の方が採用されやすいというふうに思ってたみたいなんですね。そういうのがあるのかどうか分からないのですが。
あと、OBOGとかそういう繋がりもあって、県外で教育を受けて山梨に戻ってくるとそういう上下の繋がりがあまりないので、働きにくいんじゃないかなと思っている人がいるとも聞いたことがあります。実際そんなことがあるのかどうか分からないのですが。県外でいろいろ見識を広めて山梨に帰ってきてくれる人もウェルカムでいたいと思うんですけども、そういった方達が不利にならないっていう情報発信もできたらいいんじゃないかなというふうに思います。以上です。
- 教 育 長 ありがとうございます。
もちろん県外で学ばれてることで採用時に不利に働くということはありません。ただ、山梨だと国立の教員養成大学である山梨大学などは県内の出身の方は割と多いことは事実としてあります。
あと出身大学が同じことによる働きやすさの差ですが、共通の話題があるというのかもしれないですが、仕事をする上で大学の話が前提によるわけではないので、私はそういったことはないのではと感じております。
県内と県外の割合はどれくらいでしょうか。
- 小 池 課 長 正確な数値は今手元にはございませんが、近年県外大学出身の方が増えてきています。
- 小 澤 委 員 採用された先生方の出身大学とか見ると他県で学ばれて帰ってくる先生もたくさんいらっしゃるみたいですし、そういう先生たちはどういう気持ちで帰ってきたのかなと。
- 教 育 長 話を聞くと、地元で先生やりたいたいという人がほとんどなので、県外で学んだからといって、帰ってきた時にやりづらいと思う人はあまりいないのではないかと思います。もし帰りづらいのならば学ばれた先の先生になると思いますので、帰ってくるということやはり地元志向の方がそういう選択を取られているものと思っております。
- 小 澤 委 員 逆になぜ県外の大学に行ったのかなと。

教 育 長 それは、その大学に合格したからとか、県外にも教育をやってくださる教員養成系大学がありますから。ちょっと1回地元を離れてみたいなど、様々な理由があると思います。ずっと地元志向を貫き続けていてもいろいろ紆余曲折があつてというのはそれは自然なことではないかと思ひます。

小 澤 委 員 ありがとうございます。

【 了 知 】

〔 教育長閉会宣言 〕

以 上